

I 概 況

※概況にある前年同期比の値は、接続係数で補正済み。ただし、「4. 設備能力及び従業員数」のプラントの基数、従業者数は除く。

平成30年7～9月期の出荷数量は、15,139.4千m³、前年同期比▲4.5%の減少となった。

1. 需要先別の動向

土木向けは4,850.2千m³、前年同期比▲8.1%の減少となった。このうち鉄道・電力向けは592.2千m³、同15.9%の増加、港湾・空港向けは550.6千m³、同▲3.8%、道路向けは1,204.4千m³、同▲23.1%、その他向けは2,503.0千m³、同▲4.8%の減少となった。

建築向けは10,289.2千m³、同▲2.7%の減少となった。このうち非住宅向けは4,135.8千m³、同2.2%の増加、官公需向けは1,321.6千m³、同▲7.3%、住宅向けは4,831.9千m³、同▲5.4%の減少となった。

2. 地域別の動向

経済産業局(沖縄は内閣府沖縄総合事務局)別に見ると、北海道は947.7千m³、前年同期比▲12.4%の減少。このうち土木向けは355.9千m³、同▲10.9%、建築向けは591.8千m³、同▲13.2%といずれも減少。

内訳は、鉄道・電力向け(同65.1%)、港湾・空港向け(同26.9%)が増加するものの、道路向け(同▲24.0%)、その他向け(同▲34.0%)、官公需向け(同▲0.2%)、住宅向け(同▲8.3%)、非住宅向け(同▲20.8%)が減少。

東北は1,769.1千m³、同▲10.8%の減少。このうち土木向けは917.8千m³、同▲16.5%、建築向けは851.2千m³、同▲3.9%といずれも減少。

内訳は、鉄道・電力向け(同10.7%)、非住宅向け(同9.9%)が増加するものの、港湾・空港向け(同▲17.9%)、道路向け(同▲29.1%)、その他向け(同▲12.8%)、官公需向け(同▲25.7%)、住宅向け(同▲4.0%)が減少。

関東は5,235.7千m³、同▲0.3%の減少。このうち土木向けは1,173.3千m³、同▲3.0%の減少、建築向けは4,062.4千m³、同0.5%の増加。

内訳は、港湾・空港向け(同20.3%)、その他向け(同6.3%)、官公需向け(同7.7%)、非住宅向け(同5.6%)が増加するものの、鉄道・電力向け(同▲13.4%)、道路向け(同▲19.7%)、住宅向け(同▲4.8%)が減少。

中部は1,654.8千m³、同▲1.1%の減少。このうち土木向けは559.6千m³、同▲5.9%の減少、建築向けは1,095.2千m³、同1.5%の増加。

内訳は、鉄道・電力向け(同29.8%)、港湾・空港向け(同12.3%)、官公需向け(同4.4%)、非住宅向け(同7.7%)が増加するものの、道路向け(同▲22.7%)、その他向け(同▲8.6%)、住宅向け(同▲5.5%)が減少。

近畿は1,729.4千m³、同▲3.4%の減少。このうち土木向けは512.5千m³、同▲8.0%、建築向けは1,217.0千m³、同▲1.3%といずれも減少。

内訳は、鉄道・電力向け(同36.7%)、官公需向け(同3.0%)、非住宅向け(同0.2%)が増加するものの、港湾・空港向け(同▲10.2%)、道路向け(同▲32.9%)、その他向け(同▲2.7%)、住宅向け(同▲3.5%)が減少。

中国は957.6千m³、同▲13.3%の減少。このうち土木向けは321.3千m³、同▲15.9%、建築向けは636.3千m³、同▲12.0%といずれも減少。

内訳は、鉄道・電力向け(同▲35.2%)、港湾・空港向け(同▲43.1%)、道路向け(同▲16.8%)、その他向け(同▲8.7%)、官公需向け(同▲25.5%)、住宅向け(同▲9.6%)、非住宅向け(同▲9.8%)といずれも減少。

四国は605.8千m³、同▲16.7%の減少。このうち土木向けは266.7千m³、同▲16.1%、建築向けは339.1千m³、同▲17.2%といずれも減少。

内訳は、鉄道・電力向け(同208.5%)が増加するものの、港湾・空港向け(同▲69.8%)、道路向け(同▲24.7%)、その他向け(同▲8.5%)、官公需向け(同▲41.4%)、住宅向け(同▲9.6%)、非住宅向け(同▲11.6%)が減少。

九州は1,850.0千m³、同1.9%の増加。このうち土木向けは685.1千m³、同4.6%、建築向けは1,164.9千m³、同0.4%といずれも増加。

内訳は、鉄道・電力向け(同12.7%)、港湾・空港向け(同38.3%)、その他向け(同6.3%)、非住宅向け(同11.0%)が増加するものの、道路向け(同▲10.8%)、官公需向け(同▲3.2%)、住宅向け(同▲4.1%)が減少。

沖縄は389.2千m³、同▲8.6%の減少。このうち土木向けは57.9千m³、同▲7.2%、建築向けは331.3千m³、同▲8.8%といずれも減少。

内訳は、港湾・空港向け(同13.5%)、非住宅向け(同19.6%)が増加するものの、鉄道・電力向け(同▲50.2%)、道路向け(同▲25.3%)、その他向け(同▲11.7%)、官公需向け(同▲27.1%)、住宅向け(同▲9.6%)が減少。

3. 月別の動向

月別に出荷動向をみると、7月が5,263.9千m³、前年同月比▲3.4%、8月が4,777.3千m³、同▲1.6%、9月が5,098.2千m³、同▲8.1%といずれも減少。

このうち土木向けは、7月が1,654.5千m³、同▲8.5%、8月が1,517.3千m³、同▲3.8%、9月が1,678.3千m³、同▲11.3%といずれも減少。建築向けは、7月が3,609.3千m³、同▲0.9%、8月が3,260.0千m³、同▲0.6%、9月が3,419.9千m³、同▲6.4%といずれも減少。

4. 設備能力及び従業員数

9月末の全国のプラントの基数は2,095基で、前期末(30年6月末)より7基の増加、前年同期末(29年9月末)より1基増加した。月間生産能力は55,275千m³、前年同期比▲1.7%の減少となった。

9月末の従業者数は、26,365人、前年同期末より▲112人(▲0.4%)の減少となった。